



秋会期 10/19

瀬戸内仕事歌&

〜瀬戸内源平合戦絵巻〜

オペラ「扇の的」ダイジェスト版

瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクトⅡ

仕事歌とは？

瀬戸内地域で暮らす人たちが生活のために労働する中で、自然と口ずさみ生まれてきた唄です。労働中に口から出された言葉やかけ声が、いつの間にか唄となり、歌い継がれてきました。娯楽ではなく仕事の為に必要とされた音楽で、音楽の始まり、芸術になる前の音楽として捉えられています。



香川大学 地域・産官学連携戦略室
特命教授
わか い けん じ
若井 健司

香川県高松市出身。東京藝術大学・大学院 音楽研究科修了。芸術学修士。香川大学教育学部教授を経て、2025年4月より地域・産官学連携戦略室特命教授。専門は、音楽教育・声楽。

～代表の若井健司特命教授に聞く～ 公演を通して伝えたい思いとは

2022年に続き、地域の方々の協力を得て二部構成で上演します。第一部では、瀬戸内で暮らす人々が労働の際に歌っていた仕事歌を、当時の労働風景と共に再現します。今回は、新しい唄、演出も入れてパワーアップしています。第二部では、瀬戸内での源平合戦「一ノ谷の合戦」と「屋島の合戦」をオペラ化した「扇の的」のダイジェスト版をご披露します。

仕事歌は人々の生活に根付いた音楽が、「芸術として発展する前の起源的音楽」。対してオペラは、音楽に演劇・美術などの様々な文化芸術を融合、発展させた“総合芸術性を持つ音楽”です。そういう意味では対極にある二作品ですが、共通するコンセプトは「瀬戸内」。かつてこの地域で行われていた仕事やこの地域で起こった歴史的な出来事を音楽(芸術)を通して知ること、ふるさとに愛着をもつ人が増えてほしいと願いを込めました。多くの方に世代や国境を越えて、この作品をみていただき、かつてこの地に生きた人々の想いや願い、その姿に触れていただきたい。そして、先人たちの生き方に誇りをもち、新たな思いを持つきっかけになってほしいです。

ブルガリア公演(2018年10月6日)の様子▶



オペラのキャストからひとこと♪



平敦盛役 教育学部附属高松小学校講師
くにかた り か
國方 里佳

演じる中で特に注目してほしい場面はどこですか？

女性が男性役を歌うことを、オペラでは「ズボン役」といいます。オペラの世界では成人していない男性役を女性が演じることはよくあります。今回私が演じる笛の名手であった平敦盛も17歳。17歳の若者が戦へ出陣しなければならぬ時代。現代を生きる我々には想像し難い世界を、四国村という幻想的な空間で演奏することにより、その雰囲気や少しでも結びつけ皆さまにお届けすることが出来るのではないかと思います。



熊谷直実役 教育学部講師
てらじま ひろ き
寺島 弘城

「熊谷直実」とはどのような役でしょうか？

私が演じる熊谷直実は、源氏に仕える武蔵の国の勇猛な武士で、情に厚い性格をしています。見どころは、一ノ谷の戦いで平敦盛の首を斬る場面です。直実は敦盛の首を斬ろうと兜を引きはがした時、自分の息子と同じ年頃であることに気が付きます。武術を磨いてきた直実が戦争の虚しさや不条理さを知った瞬間です。そして「生きる」ということはどういうことなのかを考えさせられます。是非とも歴史ある四国村で、臨場感溢れる生の舞台をお楽しみいただきたいと思います。



チケット販売
などの最新情報
はこちら！

開催日 2025年10月19日(日) 開催時間 16:30~18:50 開催場所 四国村ミウゼウム内「小豆島農村歌伎舞台」 定員 400名



東京藝術大学 × 香川大学

まちづくりプロジェクト ぐんだらけ

東京藝術大×香川大で挑む、東かがわ市のまちづくりプロジェクト「ぐんだらけ」。ぐんだらとは、引田の方言で「ダラダラおしゃべりする」こと。住民との対話こそが地域課題解決への第一歩だという想いが込められている。

香川大学 イノベーションデザイン研究所
特命助教
み だ に

三合 なずな

香川県東かがわ市出身。香川大学創造工学部創造工学科造形・メディアデザインコース卒業。2024年5月より、面白法人カヤックからの在籍出向にて現職。専門は、アートプロデュース、アートマネジメント。

ぐんだらけ
Instagram



東かがわのまちをアート作品にすると？

漁業や手袋製造業といった東かがわならではの産業から出る廃棄物を素材にした奉納和船など、東京藝術大出身の作家3名の作品を展覧します。いずれの作品も作家自身が東かがわのまちに入り、地域住民と対話を重ねるなかで着想を得て制作されました。生まれ育った場所、年齢、価値観が異なる人々の交流がアート作品に昇華されるまでの過程を感じながら鑑賞してもらえとうれしいです。東かがわが瀬戸芸に参加するのは、今回が初めて。まちにどんな刺激がもたらされるのか、地域のみなさんも楽しみにされています。

チューモク
ニュース！

アーティストによる作品展示

夏会期 8/1~8/31



ぬまた ゆ か
沼田 侑香



高齢化や人口減による港町の変化と、通信手段の変化とともに役割や文化を失っている大漁旗を重ねあわせ、アイロンビーズやプラスチックゴミなど現代の素材で大漁旗を制作し、時代の変化を可視化します。



に い としひろ
新居 俊浩



引田の普段の暮らしに焦点を当て、住民や地域に関わりのある人々へインタビューを行い、彼らの営みを記録し、図解化します。作品を通して引田の市井の雰囲気を感じられます。



くわばら としゆき
栞原 寿行



用途を失った様々な「あまりものたち」(廃物)を奉納和船(かつて神仏に奉納されていた精巧な船舶模型)として再構築し、本来は海に出ない奉納和船を出航させることで、「あまりものたち」を海に奉納します。

瀬戸内国際芸術祭サポーター

こえび隊募集中！

詳細はこちら！

